



畑の面積: 12 ha

Average Age of the Vines: 35 years old

Average Annual Production: 50 000 btles

Grape Variety: Pinot Noir

2013年はまたしてもブルゴーニュのヴィンテロンたちに手厳しい試練を与える年となりました。

醸造所に健康なブドウを持ち帰るためには、シーズン中、ベト病とウドンコ病との熾烈な戦いを強いられました。5月という季節を迎えても月間通じて寒々とした雨に見舞われ、そのことが大きく起因して収穫が遅れました。私たちのドメーヌでは10月6日にヴォーヌ・ロマネの畑からブドウを摘み始め、17日にオート・コートで終わりました。この年より遅い収穫年といえば、1978年まで記憶を遡らなければなりません。開花後期の天候の崩れが原因で花振るいが多く見られ、殆ど全ての房がミルランダージュとなって小さな粒を纏いました。そのため、平年と比べ収量は30~40パーセント落ち込みました。

しかし、このミルランダージュこそがヴィンテージを救うことになったのです。

7月に暑い日が差した以外はパツとしなかった夏の不順な天候下でも、負担の少ない小ぶりのブドウ房はパーフェクトに熟していってくれました。

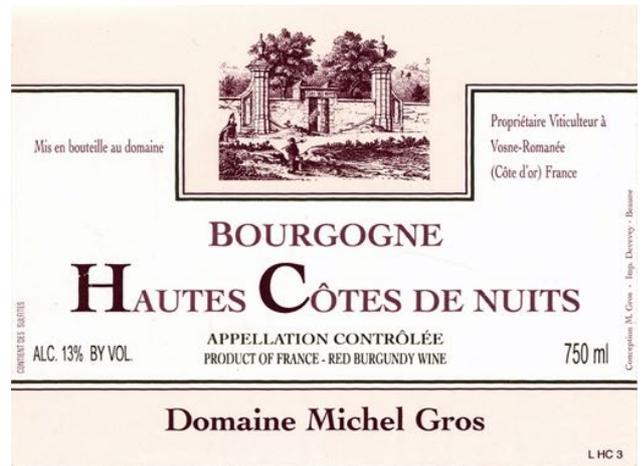
粒が小さく隙間があるミルランダージュの房でなければ、収穫前に続いた数日の雷雨でボトリティス菌が蔓延し、やっと目の前にした収穫物が壊滅していたかもしれません。

そして、果汁の少ないミルランダージュだからこそ実現した濃い色。結実不良により種が無かったり種のサイズが小さかったりすることが幸いした、タンニンの突出しないバランスがとれた自然の凝縮。

成熟が遅れ、比較的冷涼な気象状況のもとでブドウが熟成の最終段階を遂げた為、誕生したワインは濃いフルーツのアロマを丸ごとフレッシュに蓄え、夫々のテロワールの個性をくっきりと描いています。

酸のレベルが高いことはワインの長熟性を示し、一方、低いpHで証明されたこの高い酸味は、タンニンがすでに溶け込んでいるリッチなテクスチャに抱擁され、テイスティング上ではさほど目立たないのです。

結果として、2013年のワインはすでに誘惑的な魅力を呈し、ハーモニー、バランス、鮮烈な強さと緻密なアロマを持ち合わせています。ポテンシャルが高く、言うなれば1993年に類似する特徴があり、1993年といえば今日飲んででもなお素晴らしい有望なヴィンテージなのです。



プレスレビュー

Jancis Robinson, January 12, 2015

16.5 / 20

Quite stunning fruit for a modest appellation - bursting full of raspberry and redcurrant. Lovely clove and olive note too, and a really generous and tender structure. Light and shortish for sure, but still overdelivers for the origin. (RH)

2018-2022

Sarah Marsh, Winter 2014, The Burgundy Briefing N° 16

This is higher toned than the Bourgogne; ripe redcurrant and wild flowers. More zing on the attack than the Bourgogne; It is straighter; tenser and very energetic on the finish. Quite a peppery finish. There is a bit more intensity in the palate...it has a slightly stronger core. I like both the Bourgogne this year.

Allen Meadows, 15/01/2015, Issue 57

A completely different nose of brooding and intensely earthy and sauvage aromas is comprised of various dark berry fruit scents. Here too there is good volume and intensity along with more evident minerality on the middle weight, vibrant and delicious flavors that are supported by bright acidity and relatively firm tannins. This is a Bourgogne that will require a few years of bottle age first

Bill Nanson, Burgundy-Report, 03/12/2014

The aging here is started in 50hl foudres until the malo is finished (can be 6-10 months) and then is finished in 1 to 2 years-old barrels. Here is a beautiful nose of vibrant dark red fruit - still with a hint of malo. Plenty of acidity here - almost piercing the fruit is lovely and largely brings balance. Relatively faint tannin here in the finish.

今飲んで **86+** ポテンシャル **87+** 飲み頃予想 2016~2028

この赤も白も収量はなんと80%減！オート・コートの区画は収穫日が遅いため、どんどんブドウが腐敗して行き、もう手が付けられなかったから。そうして僅かに残った健全なブドウから造られたこのワインの香りは例年より深みがあり、大地の香りにあふれている。口に含むとアタックはやはり酸度がかなり高い。そして果実味は今は硬い、典型的な13年の初期の味だ。しかし、これも果実味がはぐれる1~2年後くらいにバランスがとれることは間違いない、すぐにコルクを抜かないこと。(15年06月試飲)

Real Wine Guide N°51 - Autumn 2015